【東京開催】 NO. 2511124

塗料・塗膜の基礎(塗装系)と 欠陥分析技術、耐候性技術

- ◆日時:2025年11月25日(火) 10:00~17:30
- ◆会場:江東区産業会館 第2会議室
- ◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 - ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03 - 5857 - 4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:ブライトン塗料塗装研究所(元クボタ) 特別顧問 赤堀 雅彦

塗料業界に新しく参入される方だけではなく、関連業界で活躍されている方々に、塗料・塗装・塗膜に関する基礎的な知識として、塗装系における各塗料(前処理、電着 、溶剤塗料)の特徴や塗装工程を復習し、それぞれの目的や注意する点を概説します。また製品の外観品質向上を目指す上で、塗膜欠陥(はじき、へこみ、たれ、わき、 膨れ、異物)のメカニズムを整理し、これらの分析手法と対策について解説いたします。また、外観向上のための「耐候性」について、現状と課題について考えます。

1. 塗料の基礎

- 1.1 序章:塗料の歴史「なぜ、塗るのだろう?」
- 1.2 塗料の3つの役割(外観、保護、機能)
- 1.3 塗料、塗装、塗膜の基礎用語
- 1.4 塗料の構成成分、塗料の種類
- 1.5 塗料成分(樹脂、顔料、溶剤、添加剤)とその役割
- 1.6 塗装工程とその目的
- 1.7 塗装方法、塗装系の考え方

2. 表面処理工程とその目的・必要性

- 2.1 ショットブラスト工程
- 2.2 脱脂工程(アルカリ脱脂と酸洗いの違い)
- 2.3 表面調整工程
- 2.4 化成処理工程(りん酸鉄、りん酸亜鉛、酸化ジルコニウム)
- 2.5 表面処理の不具合事例

3. 電着塗装工程(含:プライマー処理(下塗)

- 3.1 電着塗料の基礎、塗着メカニズム
- 3.2 電着塗装の特徴、付き回り性(プライマーとの比較)
- 3.3 電着工程(ライン)の管理

4. 溶液系塗料の塗工方法

- 4.1 溶剤系塗料vs水系(水性)塗料 その特徴と欠点
- 4.2 種々の塗装法(カーテンコーター、ロールコーター、スプレーなど)
- 4.3 スプレーガンの各特徴とスプレー塗装の適正粘度
- 4.4 メタリック塗装、パール塗装、クリヤ塗装の特徴
- 5. 塗料・塗膜の品質管理、塗膜不良(欠陥)の評価・分析法
 - 5.1 評価・分析の考え方(アプローチ)
 - 5.2 前処理の重要性
 - 5.3 分析機器選択のKey point

- 5.4 分析/解析の3つの観点
 - - ~塗料・塗膜の状況を把握する~(外観評価:色相、光沢など)
 - (2) 化学的分析
 - ~塗料・塗膜の化学構造を把握する~(赤外分光法など)
 - (3) 物理(物性)的分析
 - ~塗料・塗膜の物性を把握する~
- 5.5 解析評価や機器分析の事例紹介

(はじき、へこみ、たれ、わき、膨れ、異物を中心として)

- (1) 途膜のはじき分析
- (2) 塗膜に異物分析 など

6. 耐候性技術、その試験法と劣化評価

- 6.1 耐候性と劣化因子:4大主因子と副次的因子
- 6.2 耐候性技術で知りたい3つのこと
- 6.3 実曝試験と促進耐候試験
 - (1)「促進性」と「相関性」は、なぜ合い難いのか!
 - (2)自然環境の多様性(複雑な環境要因)
 - (3)試験方法、機器の多様化
 - ・従来の促進耐候試験(サンシャイン、キセノン、メタハラなど)の選び方
 - 新しい促進耐候試験法
- 6.4 評価方法の多様化
 - (1)外観評価(色相、光沢、白亜化、クラックなど)
 - (2)化学的評価(赤外分光法など)
 - (3)物性的評価(熱的変化、硬度など)
- 6.5 耐候性の強い塗膜(製品)への設計思想
 - (1)長寿命化のための3つの手段
 - (2)寿命予測の考え方と課題

『塗料塗膜【東京開催】』セミナ

会社∙大学				● セミナーの受講申込命
住所	Ē			必要事項をご明記の上、F. さい。弊社で確認後、必ず受
電話番号		FAX		たしまして、別途請求書、会: でお送りいたします。 セミナーお申込み後のキャ
お名前	所属∙役職		E-Mail	にお受けしておりませんので席できなくなった場合は代理
1				ださい。
2				お申込み・振込に関する詳細(⇒ https://www.rdsc.co.jp,
A D 36 A3 / (dol)				個人情報保護方針の詳細はH

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

□Eメール

みについて

AXでお申込み下 :領のご連絡をい 場の地図を郵送

ンセルは基本的 、ご都合により出 !の方がご出席く

はHPをご覧下さい。 pages/entry

IPをご覧下さい。 ⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy



株式会社R&D支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階 TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) https://www.rdsc.co.jp/